



船橋市議会議員（市民社会ネット）

浦田 秀夫 通信

第 86 号（2012 年春季号）
議会報告版

自 宅 船橋市松が丘 4-31-5 TEL&FAX 047- 466-6019
事務所 船橋市高根台 6-38-9 TEL&FAX 047- 461-1350
メール hideo@urata.office.ne.jp ブログ <http://urata-hideo.seesaa.net/>

市立医療センター

救急を断らない体制確立へ

24 年度第 1 回定例会市議会は、2 月 27 日から 3 月 28 日までの会期で開かれ、一般会計、特別会計、企業会計、総額 3.169 億円の 24 年度予算などが審議されました。市の予算案に対して、防災、子育て、高齢者福祉、医療、公共交通、都市基盤の整備などについて質問し、予算委員会では、予算組替え動議を提出しました。

医師・看護師の確保、育成

市立医療センターは、これまで救急用ベットやスタッフの不足などで救急患者の受け入れを断ったことが度々ありました。

平成 21 年度以来、医療センターが救急患者を断らない病院としてその役割を果たすことを求めてきましたが、24 年度から始まる 3 カ年の中期経営計画の中で、「救急救命センターの充実で、救急を断らない体制、なかでも 3 次救急を断らない体制を推進」を掲げました。

鈴木一郎病院事業管理者は、健康福祉委員会で、「救急救命センターの充実を 3 カ年の最大の目標にしたい。そのために医師と看護師の確保、育成に努めたい」と述べました。

本会議の質問では、救急を断らない体制をどのように構築していくのか質問しました。

医療センターからは「医師と看護師の確保の他、重度外傷センターの設立によって救急医と診療科の専門医の連携をさらに充実させ、ICU（8 床）から救急病棟（35 床）へ、救急病棟から一般病棟へと円滑な病棟移動を行なうベットコントロールを強化して救急患者用の病床を確保したい」との答弁がありました。



北習志野駅～医療センター間

バス路線設置の協議を開始

市民からの強い要望を受けて、これまで乗り合いタクシーによる医療センターへのアクセスを求めてきましたが、本会議の質問に対し、企画部長は、「医療センターへのアクセスについて市長から指示を受け、北習志野駅～医療センター間のバス路線設置が可能かどうかバス事業者と協議を始めた」と答弁しました。

予算委員会では、昨年の議会でも、乗り合いタクシーによる医療センターへの運行を検討すると言いながら途中で方針が変わった。今度こそ間違いなく実現するよう強く求めました。

平成 24 年度予算に対する質問

平成 24 年度予算に関して本会議や予算委員会で行なった主な質問です。

保育園の待機児童対策

子育て支援施策は、少子化が進む中、市民が安心して産み、育てる環境を整備することは市政にとってもっとも重要な施策ですが、市の保育園の待機児童数は3月1日現在、1,452名と緊急事態であると指摘しました。

しかし、市の24年度予算は、増設や新規建設で230人、市立保育園の建替えて80人の定員増に止まっていること。家庭的保育事業（保育ママ）は、保育者数18人で委託児童数45人であること。認可外保育施設への運営費補助は、2施設で定員は40人程度であることなど、待機児童対策として大変不十分であるとして、総合的、抜本的な待機児童対策のため予算を増額することを求めました。

市は本会議では「予算の増額はできない」との答弁でした。

予算委員会で、担当課長は「今年度、新設について法人と協議が整わなかった施設が2施設あった」ことを明らかにし、協議が整った場合、補正予算を組むよう求めたことに対し「考えてみたい」と答弁しました。

子ども医療費の無料化

子育て支援の大きな施策である子ども医療費の助成が市長の市政執行方針に載っていませんでした。県は小学校4年生から中学校3年生までの入院について子ども医療費の助成を拡大する方針。

市はこれまで県に先んじて助成対象を拡大してきました。県に先んじて中学校3年生まで、入院、通院とも現物支給で助成し、無料化することを求めましたが、市は「県の動向を注視したい」との答弁に止まりました。

介護保険料の据え置き

介護保険料は、保険料区分の多段階化や基金の取り崩しを行いました。基準額で現行の月額3,840円が4,190円に350円の値上げです。

保険料区分の多段階化は所得の低い人の負担が軽減されるもので評価しますが、値上げを回避できなかったのかと質問しました。

国は公費半分、保険料半分と言いながら財政基

盤の弱い自治体支援のための調整交付金を65才以上の方の保険料で負担させています。これは、本来国の税金で行なうべきものであると指摘しました。そして、国に負担を求めるとともに国が負担するまでの間、市費で負担するよう求めましたが、市は「国には要望するが市費では負担できない」と答弁しました。

特別養護老人ホームの建設

特別養護老人ホームは24年度285床が新たに稼働し、25年度～26年度で400床整備する計画ですが、重度の要介護者や認知症、一人暮らしの方々が入居できるよう、地域の実態に即した施設整備をすることを求めました。

地域包括ケアシステムの構築

新しい介護保険事業計画に掲げられた地域包括ケアシステムの構築は、保健・福祉・医療サービスの提供を一体的に行なうもので「施設介護から在宅介護」を実現するために不可欠です。

在宅医療の提供など市の責任と役割を明確にし、在宅介護を希望する全ての市民のニーズに答えられるようなシステムにすべきです。そのためにも、全体の構想、中期計画を早急に示すことを求めました。

安心・安全の推進

安心安全の推進については、学校校舎や保育所の耐震化の推進、防災ラジオの自治会・町会への配付、公民館等への防災備蓄品の整備などを評価しました。

しかし、津波の避難ビルの指定と発表が他市に比べ遅れており、3月11日の広報「東日本大震災特集号」には津波による被害発生状況や市の対策が何も掲載されていないなど、津波に対する市民と市の意識のギャップを感じることを指摘しました。

そして、地域防災計画は、地域によって想定される被害の状況が大きく異なることから各地域別の防災計画を市民と共に作成し、実効性のあるものにする。避難場所と避難所の区別、災害救急用備蓄品のある、なしなど市民に判りやすく周知すること。避難場所ではあるが避難所になっていない県立高校などにも災害救急用備蓄品の整備を行なうことを求めました。

市は、提案について検討すると答弁しました。

歩道上の駐輪場の解消

歩道が市営駐輪場として使われており、この解消を訴えてきましたが、新年度、京成高架下の駐輪場整備が予算化され船橋駅周辺の歩道上の市営駐輪場は解消され、高根公園駅周辺もまもなく駐輪場が完成し解消されます。

津田沼駅や北習志野駅周辺は用地の確保が困難なことから対策が進んでいません。機械式地下駐輪場の整備など具体的な対策の検討を求めました。市は検討していると答弁しました。

また、北習志野駅周辺は道路がコインパーキングになっているため自転車が歩道を通行しています。自転車の通行の確保や歩道上の歩行者の安全確保の観点から、商店街用の駐車場は別に確保するなどして、コインパーキングの撤去に関し、県警などと協議することを求めました。

高根木戸駅などの無人化計画

新京成電鉄は、平成19年12月から前原駅、平成22年4月から習志野駅、平成23年6月から滝不動駅で一部時間帯（深夜早朝）の無人化を実施していますが、昨年12月に24年度に高根木戸駅において一部時間帯の無人化を行なうとの説明が船橋市にありました。

これに対し、市はこの計画は、高齢者や障害者などの移動制約者の利便性、安全性の向上を図ることを目的としたバリアフリー新法の趣旨に反する計画であること。

滝不動駅や高根木戸駅はエレベーターや多機能トイレを国や市の補助金を受けて整備したばかりの駅で、職員のいない時間帯において多機能トイレの使用停止をしていることは利用者（障害者等）の利便性を阻害するもので「移動円滑化」が図られていないと指摘し、今回の高根木戸駅及び今後予定されている三咲駅の一部時間帯の無人化計画の見直しと、すでに実施されている前原駅、習志野駅、滝不動駅の常時有人化を求める要望書を新京成電鉄に提出しました。

また、新高根・芝山、三咲、高根台の各自治会連絡協議会からも一部時間帯の無人化中止を求める要望が出されています。

しかし、新京成電鉄はこれらの要望を無視し、無人化を強行しようとしています。

予算委員会での質問に対し市長は、「直接新京成電鉄と話をすると答弁しました。

東葉高速鉄道への出資金一時凍結

市は東葉高速鉄道（株）に毎年、出資金8億4千万円と利子補給金1億863万円の支援を行っていますが、市にとって大きな財政負担になっています。

市は、国に対して東葉高速鉄道が持つ3000億円の有利子負債軽減について再三、要望していますが、国はこれを無視し動こうとはしていません。

市が支援し続ける限り、国は動かない、事態を打開するために、出資金と利子補給金は一時凍結し、交渉のテーブルを作ることを求めました。

市長から「有利子負債軽減について、総理に直接お願いする」との答弁がありましたが「出資金などの凍結はできない」と答えました。

予算委員会では「市は、国に対して同社の保有する有利子負債の軽減を図るよう、引き続き要請していただくこと」などを求める付帯決議を可決しました。

この他、国民健康保健料の引き下げ、保健と福祉の総合相談窓口事業、救急搬送の時間短縮、被災地のがれき受け入れ、住宅リホーム経済応援事業、UR 賃貸住宅の市営住宅借上げなどを取り上げました。

予算委員会ではこれらの審議を踏まえ、24年度一般会計に対する予算組替え動議を提出しました。

24年度一般会計予算に対する組替え案

歳出の削減

- 市長・副市長の給料等の3割削減。
- 議員の報酬等の3割削減。
- 東葉高速鉄道（株）出資金等の削減。

歳出の追加

- 臨時・非常勤職員の賃金10%の増額。
- 子ども医療を中学校3年生まで無料化。
- 保育所の2施設新設、240名の定員増。
- 国民健康保健料1人9500円の引き下げ。
- 介護保険料の値上げ抑制。

歳入の追加

- 歳出の削減と追加の差額18億8,200万円を財政調整基金から繰入れる。

予算組替え案は、他党派の賛同を得られず否決され、市長提出の24年度一般会計予算が、市民社会ネット、共産党、みんなの党以外の賛成多数で可決されました。

通学路の集水桝22.301カ所

放射線測定終了

市は、市内小学校の通学路にある22.301カ所の集水桝の放射線量の測定が終了したと発表した。

小室小学校区内では最大値が0.96マイクロシーベルト/hで、市が放射線の低減化を行なう目安である0.23マイクロシーベルト/hを超えたカ所が、302カ所中230カ所。豊富小学校区では最大値が0.54マイクロシーベルト/hで、目安を超えたカ所が377カ所中117カ所でした。

市は、目安を超えた地点では土砂の撤去など放射線の軽減化を進めているとのことですが、これら北部地域は地域全体を対象とした放射線量測定と除染対策を行なうことを求めました。

主な活動報告（1月～3月）

- 1月9日 旭通り商店会親睦会新年会
- 1月11日 松が丘地区老人クラブ協議会新春懇親会
- 1月12日 議会運営委員会
- 1月13日 健康福祉委員会
- 1月15日 浦田秀夫を囲む
新春の集い
高根台公民館
- 1月19日 健康福祉委員会 市内の医療施設など視察
- 1月22日 清和町会新年会
高根木戸中央通り商店会新年会
- 1月23日 議会運営委員会
- 1月29日 市民ネット千葉県の新春交流会
- 1月30日 京葉5市議員研修会
- 2月2日 議会運営委員会 名古屋市議会視察
- 2月3日 議会運営委員会 大津市議会視察
- 2月6日 議会運営委員会 健康福祉委員会
- 2月7日 都市計画審議会
- 2月13日 議会運営委員会
- 2月16日 健康福祉委員会 在宅総合ケアセンター視察
- 2月17日 健康福祉委員会
- 2月20日 市民社会ネット会派打合せ
- 2月22日 議会運営委員会
- 2月27日～3月28日 24年度第1回定例市議会
- 3月16日 古和釜小卒業式
- 3月25日 清和町会総会



進む宮本古和釜線道路の整備

用地買収率 82%
平成 25 年度末に
事業完了予定



松が丘生協

平成 25 年に
事業着手予定

高根台中

高根台近隣公園

高根台 2 小

平成 24 年に
事業着手

高根木戸駅

用地買収率 67%
平成 25 年末に
事業完了予定



木戸川の整備も

用地買収率 91%
改修工事は 791m 済み
改修率 29.3%
平成 27 年度末の完了
を目指している。



囲碁大会のお知らせ

日時 5月13日（日）12時30分～5時30分
会場 高根台公民館 講堂
参加費 500円
試合方法 クラス別のスイス方式4回戦
Aクラス（3段以上） Bクラス（1級～2段）
Cクラス（5級～2級） Dクラス（6級以下）
主催 浦田秀夫と市民の会 参加申込 461-1350